

2017 年度第 3 四半期決算の概要 質疑応答

Q

2017 年度第 3 四半期の連結業績における利益は、すでに年度公表値に対して超過していますが、第 4 四半期（1 月～3 月）は利益減の見込みですか？

A

1 月以降、大型の音楽ライブやスポーツなど強力なコンテンツを投下することなどで費用が増加するため、利益は減少する見込みです。

Q

2017 年に子会社化した WOWOW プラス（旧・IMAGICA ティーヴィ）やアクトビラとの事業面等での取り組みについて教えてください。

A

WOWOW プラスの運営するベーシックチャンネルの顧客に対し、ドラマ W などのオリジナルコンテンツを提供することで、当社のコンテンツに興味・関心を持っていただき、WOWOW の将来の顧客拡大につなげる取り組みを行なっております。その他にも「第 90 回アカデミー賞授賞式」の共同プロモーション展開を行なうなど、マーケティングの効率化等にも取り組んでおります。

また、アクトビラでは、放送と配信が連動した TV 向けの新サービス開発に向け、ハイブリッドキャスト^{*}を活用した TV 向けの 4K サイマル配信および 2K 生配信サービスの実証実験等を行なっております。

Q

動画配信サービス市場が競争激化となっていることについて、御社の考えを教えてください

A

お客さまの視聴スタイルの動向は注視しておりますが、現時点では当社の事業に大きな影響はでておりません。現在、動画配信サービスもオリジナルコンテンツ強化に取り組んでおりますが、当社は優れたクリエイターとともに、差別化したコンテンツを提供し続けることにより、お客さまから選ばれる存在であり続けるよう努力していきます。

※放送と通信を連携させるサービスで、インターネット経由で豊富な情報を TV 上に提供できることが特徴

以上